



日本銅センター賞 賞碑

人間が始めて天を飛んだ。たとへそれがわずかな距離であっても貴重なことだと思います。始めて発見する。始めて開発する。その「始めて」の貴重さには変わりありません。

人間が始めて喰べたのがリンゴであったとか……。リンゴをこの賞のモチーフに用いて見ました。

東京藝術大学名誉教授
三井安蘇夫

一般社団法人 日本銅センター

東京都台東区上野 1-10-10 (うさぎやビル) TEL / 03(3836)8821 FAX / 03(3836)8828
(一社)日本銅センターホームページ <http://www.jcda.or.jp>



日本銅センター賞

50
回記念

受賞者一覧

銅の需要開発、普及促進に
貢献された方々に対して
その優れた功績をたたえる
ため、昭和49年(1974年)度
から「日本銅センター賞」を
贈呈する制度が設けられた。



一般社団法人

日本銅センター

日本銅センター賞表彰の対象は

- 各種技術分野に於いて銅の有効な利用により、需要の促進に寄与したもの。
- デザイン、アイデアがすぐれ、銅製品の開発に寄与したもの。
- 銅製品の普及、販売の促進に貢献したもの。
- 銅製品のイメージアップに貢献のあったもの。

と定められており、毎回選考委員会で厳正に選考。今回、50回目を迎えるが、この間各界から 161件、206企業／団体／個人の方々が受賞されている。受賞者には賞状と東京藝術大学名誉教授三井安蘇夫氏のデザインによる日本銅センター賞碑(ブロンズ像)が贈られる。

受賞者名	会社名	受賞理由
1974年 / 昭和49年度 (1回)		
故 岡村 圭男	住友商事(株)	新工法による高層建築に対する銅管ならびに住宅冷暖房用銅管の需要開拓
南 利三郎	東洋フイツテング(株) 専務取締役	銅管継手の開発による建築、衛生、給水湯および空調設備用銅管需要開拓
松本 祐治郎	(株)多久製作所 取締役社長	
明 道 登	新光金属(株) 代表取締役	優れた家庭用銅製品の量産化とその普及促進
馬場 好美	(株)富士工 常務取締役	銅箔を使用した内装および家具等の新製品の開発
佐藤 三郎	損斐川電気工業(株) 常務取締役工業長	
豊川 行平	東京大学 医学部 教授	銅の衛生学的研究
小口 八郎	東京藝術大学 美術学部 教授	伝統的銅着色法の科学的研究による人工緑青等の工業化に関する研究
1975年 / 昭和50年度 (2回)		
石川 堯	石川技建工業(株) 代表取締役	レインレス工法開発による神社仏閣に対する銅屋根の普及促進
小野 留吉	(株)小野工業所 取締役社長	神社仏閣をはじめ近代建築に対する銅屋根の普及促進
宇津野 和彦	菊川工業(株) 取締役社長	銅および銅合金建築内外装材の開発普及
笹倉 五郎	(株)笹倉機械製作所 取締役社長	大型海水淡水化装置の開発による銅合金伝熱管の需要拡大
田島 一男	(株)田島順三製作所 取締役社長	銅および銅合金建築内外装材の開発普及
鈴木 博明	(株)神戸製鋼所 取締役社長	多年にわたり共同して銅の正しい衛生知識の普及ならびに給水給湯、冷暖房用銅管の需要開拓
小川 義男	住友軽金属工業(株) 取締役社長	
内藤 正之	日立電線(株) 取締役社長	
白柳 景吉	古河電気工業(株) 取締役社長	
稲井 好廣	三菱金属(株) 取締役社長	

受賞者名	会社名	受賞理由
1976年 / 昭和51年度 (3回)		
鈴木 二郎	(株)日本設計事務所 取締役	超高層ビルを始めとする建築設備配管分野への銅管を用いる設計の推進とプレハブ、ユニット化による銅管需要の促進
日本楽器製造(株)		導電性強力バネ材としての銅チタン合金の工業生産化の成功による需要の促進
1977年 / 昭和52年度 (4回)		
東京瓦斯(株) 機械営業部		銅管の特性に早くから着目し、ガスセントラル・ヒーティングの給湯配管材として長年使用による銅管の需要促進
アズマ工機(株)		循環式銅製太陽熱温水器の国産化による普及促進
三菱金属(株)		鉄鋼連铸用耐熱性モールドの開発による需要促進
1978年 / 昭和53年度 (5回)		
サミット・パイプサービス(株)		建築設備用銅配管のプレハブユニット化による普及促進
藤野金属(株)		永年にわたる銅生活用品の開発、普及促進
三井 安蘇夫	東京藝術大学 名誉教授	永年にわたる銅の鍛金工芸の研究および後進の指導・育成
1979年 / 昭和54年度 (6回)		
(株)島本製作所		銅生活用品およびインテリア製品の開発による普及促進
大阪瓦斯(株)		省エネルギータイプ・温水暖房装置用材料として、高断被覆銅管の需要促進
(株)長谷川工務店		住宅設備用として銅管の全面採用および中高層住宅用銅製排水管の技術開発による需要促進
(株)神戸製鋼所		多年にわたり共同して銅屋根建築用銅板・銅条の需要促進
三宝伸銅工業(株)		
玉川機械金属(株)		
タニタ伸銅(株)		
同和金属工業(株)		
日本鋳業(株)		
三井金属鋳業(株)		
1980年 / 昭和55年度 (7回)		
鴨下 松五郎	(板金職)	銅屋根葺きの卓越した技能と幾多の新技法の開発普及並びに後進の指導・育成
日本建築板金工業(株)		プレス成形によるユニット式銅屋根の開発と普及促進
中部クリエート(株)		太陽熱コレクターと銅板葺き屋根の一体化方式による銅管温水暖房装置の開発と普及促進
1981年 / 昭和56年度 (8回)		
日立製作所(日立電線)		高性能沸騰および凝縮伝熱管の実用化とその普及促進

受賞者名	会社名	受賞理由
1981年 / 昭和56年度 (8回)		
三洋電機空調設備(株)		温水暖房搬送部材及びソーラーシステムの搬送材への新型被覆銅管の採用とその普及促進
三興鑛金工業(株)		永年に亘る銅板の各種着色法の普及開発
1982年 / 昭和57年度 (9回)		
全日本板金工業組合連合会		銅屋根標準構法の作成とその普及促進
1983年 / 昭和58年度 (10回)		
同和金属開発センター		
玉川工芸(株)		銅製品物及びインテリアの開発と需要増加への寄与
(株)シーアンドエム		
1984年 / 昭和59年度 (11回)		
川辺 允志	関西電力(株)	火力及び原子力発電における銅合金復水器管の利用技術の研究開発
1985年 / 昭和60年度 (12回)		
石丸 典生	日本電装(株)	自動車用ラジエーター・アクシーを新設計により1列化し、軽量化を技術でカバーし、銅ラジエーターの使用を維持、推進する
山下 恒雄	東京藝術大学 美術学部 教授	永年にわたる銅の鍛金技術の研究、並びに後進の育成と指導に貢献
故 村野 藤吾	日本建築家協会 会長	永年にわたり、建築設計の中に銅板屋根を利用し続けた功績
1986年 / 昭和61年度 (13回)		
該当者なし		
1987年 / 昭和62年度 (14回)		
飯塚 五郎蔵	横浜国立大学 工学部 教授	
山田 水城	法政大学 工学部 教授	「銅板屋根構法マニュアル」の確立並びに普及の功績
多田 清	相互不動産(株) 社長	社寺建築に1500トン余の銅を使用した功績
1988年 / 昭和63年度 (15回)		
内井 昭蔵	内井昭蔵建築設計事務所	多くの建築作品に銅板屋根を採用し普及促進をなした功績
篠原 隆政	明治大学 工学部 教授	
前島 健	(株)森村協同設計事務所	「建築配管用銅管腐食対策指針」の発刊に貢献
1989年 / 平成元年度 (16回)		
高山 三郎	労働省卓越技能表彰 一級建築板金技能士	鬼板の加工技術また、ダクト銅板加工においても新しく創意工夫を考え、板金ダクト・サイクロンを利用した簡単な屑と風を分離する除塵装置の開発
渡辺 由一	労働省卓越技能表彰 一級建築板金技能士	鬼板や鬼瓦等の加工では、松材の木型に鬼の図案や唐草模様を描き、ノミで彫刻をするなどの独自の技術の開発
児玉 暎光	労働省卓越技能表彰 一級建築板金技能士	建築板金と細工物板金の技術に優れた神社の建造物で銅板仕事を数多く行ってきた功績

受賞者名	会社名	受賞理由
(特別受賞)		
和田 攻	東京大学 医学部 教授	
長橋 捷	東京大学 医学部 講師	
小野 哲	東京大学 医学部 講師	3年間の実験の末、緑青が無害であるという判明結果は日本衛生学会及び厚生省での実験も無害であることを発表させるに至らせ、今後の銅の新しい需要促進における銅の衛生学の新しい知識として利用されることになった功績
1990年 / 平成2年度 (17回)		
坂本 光雄	日本電子材料協会 副会長(工学博士)	リードフレーム用銅合金材料の開発育成
小原 博	(株)小原 代表取締役社長	抵抗溶接機器製造にて銅及び銅合金材料の使用且つ高性能新合金の開発に貢献
(株)タニタハウジングウェア		銅建材(成型屋根材)の開発並びに普及促進に貢献
1991年 / 平成3年度 (18回)		
今里 隆	(有)杉山隆建築設計事務所 代表取締役	内外に紹介されている多くの作品に銅板屋根を採用し、普及を成した功績
1992年 / 平成4年度 (19回)		
該当者なし		
1993年 / 平成5年度 (20回)		
該当者なし		
1994年 / 平成6年度 (21回)		
銅市金属工業(株)		銅板屋根、銅雨樋、銅建材製品の開発及び普及促進
木内 俊明	国土館大学 教授	
曾原 厚之助	(株)アール・アイ・エー 機械設備設計部長	スプリンクラー設備銅配管システムの確立
1995年 / 平成7年度 (22回)		
河原 保則	古河機械金属(株) 産機本部長取締役	下水処理場最終沈殿池における防藻用銅板の普及、拡販
伊藤 武志	新居浜市市長	銅山の街に相応しい銅による新しい都市づくりの推進
島村 慎市郎	越谷市市長	銅板屋根で築く新しい都市計画
1996年 / 平成8年度 (23回)		
平賀 岑吾	札幌市水道局 水道事業管理者	水道用銅管の新しい普及推進に関する貢献
大嶋 進	元ダイキン工業(株) 空調生産本部 汎用空調設計部参事	冷凍・空調機器用伝熱管及び配管用銅管の信頼性向上の研究
前田 智幸	富士環境システム(株) 代表取締役社長	銅板・銅管ユニット(長尺Z型パネル)による低温水式床暖房の開発・普及
大森 健二	(財)建築研究協会 常務理事 工学博士	永年に亘り国の重要文化財建造物の修復、並び、社寺建築設計の重鎮として、銅板葺屋根の採用に貢献
1997年 / 平成9年度 (24回)		
恩澤 忠男	東京工業大学工学部 機械知能システム学科教授	
金井 昭男	神奈川県産業技術総合研究所 技術支援部長	銅管のはんだ付・ろう付技術の研究及びその普及活動

受賞者名	会社名	受賞理由
1997年 / 平成9年度 (24回)		
中島 博志	鹿島建設(株) 設計エンジニアリング 総事業本部 設備設計部技術長	建築用給湯配管における銅管の普及
加茂野 高	日本エー・エム・ピー(株) (前)技術総括部長 (アンプ・テクノロジー・ジャパン(株) 社長として出向中)	自動車エレクトロニクス用コネクタの開発・普及
大島 勉	日本エー・エム・ピー(株) オペレーション部 副本部長	
1998年 / 平成10年度 (25回)		
日立伸材(株)		流し台用ストレーナー「銅バスケット」の開発と普及
東洋バルブ(株)		耐脱亜鉛黄銅合金の開発と普及
三宝伸銅工業(株)		
住友電装(株)		自動車ワイヤハーネスのジャンクションシステムの開発と普及
矢崎部品(株)		
釧路市水道部		給水・給湯銅管の普及
三洋電機(株) 環境システム事業本部 空調システム事業部		吸収冷温水機用伝熱促進銅管の開発と普及
1999年 / 平成11年度 (26回)		
三吉工業(株)		HDD(HARD DISK DRIVE)カバー用65/35黄銅条の需要開拓と促進
能登谷 武紀		銅および銅合金の腐食機構の解明と防食技術の開発
新光電気工業(株) (株)三井ハイテック		集積回路用銅系プレス加工リードフレームの普及・発展
銚子管工事協同組合		水道用銅管の普及促進
斉木 益栄	(株)小野工業所 顧問	社寺をはじめ近代建築における銅屋根の板金施工技術の向上及び普及に功績
2000年 / 平成12年度 (27回)		
森 勝久	(株)ニチフ端子工業 代表取締役	銅及び銅合金の端子コネクタの開発及び圧着工具・方法の開発
渡邊 享司	日本端子(株) 代表取締役社長	コネクタ・端子分野における伸銅品の需要拡大と促進
千村 正	姫路東芝電子部品(株) 代表取締役社長	ディスクリット(ダイオード及びトランジスタ)用リードフレームの普及と発展
渡辺 申孝	東洋精機(株) 代表取締役社長	銅合金精密型打鍛造の開発
2001年 / 平成13年度 (28回)		
山本 容子		銅版画家
東陶機器(株) 新規事業推進第一部 材料技術研究部		超塑性銅合金ESSメタルと特殊鍛造加工法の開発による新加工部品の開発
三浦 精	崇城大学 教授	

受賞者名	会社名	受賞理由
2001年 / 平成13年度 (28回)		
上田 昌雄	川重防災工業(株) 取締役社長	医療用銅管の普及促進
松崎 新市	(株)セントラルユニ 代表取締役社長	
榎本 保雄	(株)エノモト 代表取締役社長	リードフレーム及びコネクタ用銅合金の普及と発展
水田 泰次	(株)大阪合金工業所 代表取締役	伸銅品用中間合金の製造および販売
2002年 / 平成14年度 (29回)		
世利 修美	室蘭工業大学 機械システム工学科 教授	建築用銅管の孔食発生機構の解明と防食技術の開発ならびにその啓蒙活動による建築用銅管の普及促進
境 昌宏	助手	
サンケン電気(株)		半導体用銅及び銅合金リードフレーム及び発光ダイオード用リードピンの普及と発展
浜田 安弘	平井精密工業(株) 代表取締役	
北村 隆幸	メテック北村(株) 代表取締役社長	伸銅品に対する表面処理(鍍金)技術の開発・普及
高橋 宏忠	オリエンタル鍍金(株) 代表取締役社長	
石川県管工事協同組合		水道用銅管の普及促進
2003年 / 平成15年度 (30回)		
(社)日本電線工業会 電線エコロジー推進委員会		EM電線・ケーブル
前澤工業(株) 埼玉製造所		鉛レス銅合金のバルブ部品の適用
尾松 保彦	新日本製鐵(株) 技術開発本部 環境プロセス研究開発センター プラントエンジニアリング部 製鉄マネージャー	圧延銅板を使用した銅ステープの製作
松本 和朗	(株)戸畑製作所 代表取締役社長	
松田 登	ファインネクス(株) 代表取締役社長	コネクタ及び半導体向けピン材料分野における伸銅品の需要拡大と促進
ローム(株)		リードフレーム用銅合金の普及と発展
ローム・メカテック(株)		
(株)日建設計 大阪オフィス		建築設備設計において永年にわたり建築用銅管を採用して銅管の普及活動に貢献
2004年 / 平成16年度 (31回)		
宮田 亮平	東京藝術大学 学長	永年にわたる銅の鍛金技術の研究、並びに後進の育成と指導に貢献
リンナイ(株)		ガス機器関連製品の伸銅品使用による長年の需要貢献
東京電力(株)		
(株)デンソー		CO ₂ ヒートポンプ給湯器「エコキュート」用高効率熱交換器の開発
(財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所		

受賞者名	会社名	受賞理由
2004年 / 平成16年度 (31回)		
(株)内藤建築事務所		病院物件への給湯配管用銅管の設計織り込み促進
2005年 / 平成17年度 (32回)		
(株)東郷製作所		ハイブリット自動車向け、昇圧回路用コイルリアクタの開発
三菱電機(株) 静岡製作所		エアコン・冷蔵庫への高性能内面溝付銅管等使用による需要貢献
アキコ伊達		メタル(銅・黄銅)アート「銅の世界」を市民レベルに広く普及
橋本 夕紀夫		商空間デザインにおける「銅」素材の採用に貢献
2006年 / 平成18年度 (33回)		
大橋 秀行	松下電器産業(株) 家庭電化事業グループ クッキング機器ビジネスユニット 技術グループチームリーダー	銅釜を採用したIHジャー炊飯器の開発普及
中野 葆	中野設備工業(株) 顧問	給排水・空調設備配管への銅管の採用推進
佐川 旭	(株)佐川旭建築研究所 代表取締役 (建築家)	住宅建築における銅需要の推進
笹原 武志	北里大学医学部 医学博士	
菊野 理津子	北里環境科学センター 微生物部バイオ技術課	銅による抗菌作用の実証及び抗菌メカニズムの解明
シチズン時計(株)		黄銅板を使用した腕時計用ムーブメントの開発・拡販
2007年 / 平成19年度 (34回)		
伏見 行 若林 賢一	室蘭市水道部 建設課長 建設課	給水・給湯用銅配管の浄水処理によるマウンドレス型孔食の防止技術の開発
久保木 伸一	(株)クレハエンジニアリング 機能商品営業本部 部長	
松下電工(株)		銅製品の需要拡大
藤森 照信	東京大学 生産技術研究所 教授	藤森照信流 建築に生きる銅
早川 篤史 早川 克己	銅造形作家／カップーズ早川	「銅の細胞を持つ生物達」作品の普及
(社)日本電機工業会 省エネ法特定機器変圧器普及促進特別委員会		トプランナー変圧器の普及促進
2008年 / 平成20年度 (35回)		
田丸 紘夫	(株)大林組 成田山工事事務所 総合所長	建築物件における銅板・条の需要促進に貢献
益尾 和彦	(社)日本電線工業会 大阪支部 支部長	電線ケーブルの導体サイズ適正化によるCO ₂ 排出量削減に向けての活動
久米 伸一	(社)電線総合技術センター 主管研究員	

受賞者名	会社名	受賞理由
2008年 / 平成20年度 (35回)		
横澤 豊	トヨタホーム東京(株) 東京建設部 建設部長	住宅用給水・給湯配管システムへの銅管ヘッダー工法の採用を通じ、銅管の普及促進とイメージアップに寄与
ヤマハ(株)		楽器における伸銅品使用の需要貢献
2009年 / 平成21年度 (36回)		
(株)ノーリツ		ガス・石油機器関連製品の伸銅品使用による長年の需要貢献
大久保 泰和 表 幸雄 山手 利博	(株)竹中工務店 生産本部 設備管理部 部長 東京本店 設備部 部長付 技術研究所 建設技術研究部 環境・計画部門 部長付	循環給湯配管システムにおける銅管の潰食防止技術の開発
日本フリーランスインテリアコーディネーター協会		銅製品の普及促進及びイメージアップに貢献
立野 純三	(株)ユニオン 代表取締役社長	建築金物において銅合金の普及促進及び研究・開発・広報活動に貢献
2010年 / 平成22年度 (37回)		
(株)ユニ設備設計		建築用銅配管の設備設計を通じ銅管の普及と、論文や講習会で銅管の衛生性・耐震性などの紹介により銅管のイメージアップに寄与
(株)アタゴ製作所		ガス・石油機器及びエコキュート関連製品の伸銅品使用による長年の需要貢献
高橋 堅	高橋堅建築設計事務所 代表	世界初!内装に殺菌効果のある黄銅を全面的に採用したクリニックを設計及び監修
東京演劇かつら(株)		伝統歌舞伎の「かつら」を銅板で製作
2011年 / 平成23年度 (38回)		
田原 茂	京都府板金工業組合 理事長	銅加工・板金技能における銅の普及促進及びイメージアップに貢献
柗澤 章次	社会福祉法人めじろ会 めじろ保育園 園長	「銅の殺菌力」を設備として取り入れた保育園
明石 寛治	(株)明石合銅 代表取締役社長	モータ用銅製ロータのダイキャスト量産技術確立
2012年 / 平成24年度 (39回)		
西山 利明	(株)西山製作所 代表取締役社長	独自の形状開発によって、従来方式を上回る伝熱効果を実現し、これを活用することでの社会貢献と、新たな銅管需要分野の開拓に寄与
千代反田 晋	社会医療法人泉和会 千代田病院 理事長	新病院建設に際し、銅の殺菌力を活用し、銅合金製のドアハンドル・ドアレバーなど銅部材を採用し、銅製品の普及と需要の促進に寄与
金沢 久則	東永製鋳(株) 専務取締役	黄銅線から製造するパチンコ用釘製品で、従来から遊技機メーカーから要求のあった「折れにくい釘」を開発。特許も取得し、コストダウンによる国産材料の競争力強化に貢献
2013年 / 平成25年度 (40回)		
(一社)日本伸銅協会 規格委員会 第三分科会		高強度銅管の普及促進
木村 博政	東洋フィッティング(株) 取締役社長	銅製ワンタッチ式継手(テクタッチ)の開発と普及

受賞者名	会社名	受賞理由
2013年 / 平成25年度 (40回)		
東日本旅客鉄道(株)		重要文化財である東京駅丸の内駅舎保存・復原
東京駅丸の内駅舎保存・復原工事共同企業体 (鹿島・清水・鉄建建設共同企業体)		創建時の工法による東京駅丸の内駅舎保存・復原工事の施工
2014年 / 平成26年度 (41回)		
サンライズ工業(株)		特殊仕様対応の銅管を利用した熱交換器の開発・普及
古城 紀雄	大阪大学 名誉教授	日本銅学会の充実と発展に対する貢献
長 隆	日本メディカルGPO(株) 代表取締役	抗菌銅「Cu ⁺ 」の飛躍的普及に貢献
2015年 / 平成27年度 (42回)		
光菱電機(株)		銅製品を使用した各種モータ用モールド整流子等の普及に貢献
小濱 秀則	(有)小浜水産 代表取締役会長	銅合金線を使用した養殖魚網の普及に貢献
非鉄金属リサイクル全国連合会		安定したリサイクル原料の提供により伸銅製品等の普及に貢献
2016年 / 平成28年度 (43回)		
日建設計・トータルメディア開発研究所共同企業体 新居浜市総合文化施設建設工事 三井住友建設・一宮工務店・白石工務店共同企業体 (株)久門スチールワークマン社		あかがねミュージアム(新居浜市総合文化施設)の設計・施工・外装材制作によって多くの銅板使用の促進に貢献
モリタ宮田工業(株)		自動消火装置スプリネックスの普及により銅管の需要促進に貢献
パーパス(株)		長年に亘りガス給湯機器部門において多くの銅管・銅板の需要促進に貢献
(株)マキンス工業		多種多様な顧客要求に応え熱交換器用伝熱管に銅管を活用したユニットクーラーを設計・製造し、銅管の普及に貢献
2017年 / 平成29年度 (44回)		
赤川 政由	BONZE工房 銅板造形家	銅板を使った作品を通じ銅の普及促進とイメージアップに貢献
日本分蜜糖工業会		製糖装置に銅や銅合金を使用し更に新たな銅合金管の普及に貢献
(株)シンコー		原油タンカーの各種ポンプに銅を使用し需要促進に貢献
(株)パイロットコーポレーション		様々な筆記用具に銅合金を使用し銅製品の普及と販売促進に貢献
富士工器(株)		LPGガス関連機器に銅合金を使用し需要促進に貢献

受賞者名	会社名	受賞理由
2018年 / 平成30年度 (45回)		
GPSSホールディングス(株)		メガソーラー発電所における電線太径化により銅の需要促進に貢献
住友電気工業(株)		
フレアーナガオ(株)		長年に亘り熱交換器と関連製品に銅を使用し需要促進に貢献
(株)日本ピスコ		様々な空気圧機器の配管用継手に銅合金を使用し需要促進に貢献
2019年 / 令和元年度 (46回)		
(株)ダイヘン		3Dプリンタによる銅合金積層造形技術を確立し銅製品の開発に寄与
権田金属工業(株)		モーター用エンドリングの製造・販売により銅の需要促進に貢献
2020年 / 令和2年度 (47回)		
宗教学人明治神宮 清水建設(株) (有)望月板金		明治神宮銅屋根葺き替え工事に多くの銅板を使用し銅屋根技術継承と銅のPRに貢献
(株)コロナ		長年に亘り冷暖房機器や給湯機器等に伸銅品を使用し銅の需要拡大に貢献
住友電工ウインテック(株)		電動車の駆動モータ用平角巻線の開発・製造・販売により銅の需要促進に貢献
北新金属工業(株)		サーミスタ温度センサ用黄銅製品の拡販により銅の需要拡大に貢献
2021年 / 令和3年度 (48回)		
(株)FERMENT		歴史的建造物のホテル化工事に銅板や黄銅管を採用し銅製品のイメージアップに貢献
(株)鷺宮製作所		空調機器の膨張弁や電磁弁等に銅製品を使用し銅の需要拡大に貢献
(株)タイトー		純銅を使ったメダル制作マシンの製造販売により記念品・土産用として銅製品のイメージアップに貢献
2022年 / 令和4年度 (49回)		
(株)ネリキ		高圧ガス容器用バルブの専業メーカーとして、黄銅製バルブを製造し銅合金の需要拡大に貢献
(有)永山祐子建築設計		「JINS PARK 前橋」を設計、銅板の意匠性を生かしたデザインにより、仕上材としての銅のイメージアップに貢献
2023年 / 令和5年度 (50回)		
(株)伸好舎		銅合金を使用した各種歯車製品を1948年から製造・販売し、さらにこれらを組み込んだマイクロ減速機の設計・製造も行い、銅需要の促進に寄与
(株)生方製作所		銅芯材の複合線を使用したエアコンやEV/PHEV用のモータープロテクターで世界トップシェアを有し、銅の用途開発や需要促進に寄与
広島市立広島工業高等学校		2005年より「銅板折り鶴」の作成を授業に取り入れ、さらに「銅板折り鶴」を活用した平和貢献活動を活発に行い、銅のイメージアップに貢献